



ミーナ・ゴルシヤン博士

ゴルシヤン博士は、英国原子力規制庁（ONR）の副主幹検査官兼セラフィールド・廃止措置・燃料および廃棄物（SDFW）プログラム本部長であり、ONR シニアマネジメントチームメンバーの一人。SDFW プログラムでは、セラフィールドサイト、燃料取出し・廃止措置対象のマグノックス炉、環境復元サイトに加え、燃料製造・廃棄物管理サイトの規制を行う（英国において認可を受けた 36 の原子力施設のうち 21 施設が対象）。また、廃棄物管理や廃止措置政策の課題に関し、英国政府への助言も行っている。

ゴルシヤン博士は規制に関する幅広い経験をもち、ONR においては、2012 年、同庁に規制監視機能を設けるなど、役割は多岐に及ぶ。この機能は、首席原子力検査官や役員会に対し、ONR の規制機能の有効性を独立した立場から保証するものである。初期の経歴として、英国安全衛生庁の危険施設総局に従事。それ以前は、官民セクターにおいて複数の調査・コンサルティング業務の職に就く。

博士は豊富な国際経験をもち、今年行われた原子力安全条約（CNS）第 7 回検討会合では国別グループの議長、また、2013 年の CNS 第 6 回検討会合では、英国からの報告を取りまとめるプロジェクト責任者を務めた。2014 年から 16 年までは、IAEA 原子力安全基準委員会（NUSSC）において英国代表を務めた。